



サーバス九州

日本サーバス九州支部会報 No.167 2015年6月6日発行

九州支部長

昨年、湯布院での秋例会時に、御岳山の突然の噴火を知り、とても驚きましたが、その後、日本列島では次々と火山が噴火しています。つい先日は、九州・鹿児島県の口永良部島で噴火が起こり、住民の方々は近くの屋久島へ避難されているそうです。同じ鹿児島県内には活火山として噴煙を上げ続けている桜島があります。科学技術の進んだ今でも自然の威力はやはり未知数です。先人たちはその恩恵を受けつつ、被害も享受しながら、上手に自然との共存をはかってこられたのでしょ

う。数日前の夜、蛍が乱舞するダム建設予定地を歩きました。「どうしてこのすばらしい自然財産を人の手で壊してしまおうとするの？ 次の世代の人たちに遺産として残してあげられないの？」と自問したことでした。（この地については「パタゴニア」が4月22日付けの数種の新聞に意見広告を出していましたので、ご存じの方もあると思います。）

みなさまの周囲にも次の世代に残したい自然遺産がたくさんおありではないでしょうか。

さて、会報2015年6月号（167号）をお届けします。

受信されましたらご一報いただくと安心します。どうぞよろしく願いいたします。

掲載している内容は以下の通りです。

- 1 サーバス九州秋例会 -雲仙- のご案内
- 2 シリーズ世界一周の旅 -その8- ヨルダン編
- 3 サーバストラベリング報告 -イギリスから
- 4 サーバス訪問と受け入れ報告
- 5 サーバス九州からのお知らせとお願い
- 6 サーバス九州現況（2015年6月1日現在）と会員情報
- 7 サーバス九州連絡先等（常掲）HPでは省略

1. サーバス九州例会 -雲仙- のご案内

期日： 2015年 9月26日（土）～9月27日（日）

日程 I 9月26日（土）

- 1 集合 公共交通利用 12:00 JR長崎駅改札口付近
手荷物はコインロッカーへ

路面電車で原爆資料館へ

自家用車利用 12:30 長崎原爆資料館正面入り口
早く到着された方は資料館見学開始 OK

- 2 資料館見学 12:30～13:30
- 3 被爆者のお話を聞く 13:50～14:50 (於：被爆者の店)
- 4 聖コルベ記念館見学 移動：路面電車＋タクシー 14:50～15:30
見学： 15:40～16:30
- 5 雲仙へ移動： ①長崎駅へ(荷物取り出し等) 16:30～17:00
②専用車で雲仙のホテル青雲荘へ 17:00～18:30

ホテル青雲荘

〒854-0621 長崎県雲仙市小浜町雲仙 500-1

電話：0957-73-3273 FAX 0957-73-2698

- 6 夕食＋交流会 19:00～21:00

日程II 9月27日(日)

- 1 起床・朝食・周辺散策等
- 2 ホテル出発(ホテルバス) 9:00
- 3 深江(道の駅・水なし本陣)雲仙噴火災害地見学(被害家屋等展示)
- 4 諫早(いさはや)に向けて出発 公共バス＋島原鉄道
- 5 諫早駅着 解散予定時間 12:30

費用： 一人 13,000 円 外国からのお客様：一人 12,000 円

含むもの：長崎市内移動費、原爆資料館参観費、被爆者講話謝礼、夕食、朝食、長崎市内からホテルまでとホテルから雲仙噴火災害記念館まではホテルの送迎バス利用

含まないもの：島原市内からの交通費、個人的費用、昼食代

締め切り：2015年8月20日

申し込み後の変更にも対応しますので、できるだけ早く意向をお伝えください。見通しが立ちやすくなりますので助かります。よろしくお願いたします。

申し込み：参加希望者は①～⑤をご都合のいい方法で支部長宛てにご連絡ください。

①お名前 ②人数 ③宿泊の有無 ④交通手段 ⑤その他(必要に応じて)

お友達をお誘いいただいても結構です。九州支部以外の方もどうぞ！

特別情報です！

この日(日曜日)は島鉄の一日フリーパスデーで、島原鉄道のバス・電車が1日1000円で乗り放題です。島原を観光されたい方、熊本へ渡りたい方はこのチケットを使って自由に動かれてはいかがでしょうか。27日の全体的動きは上記のように考えていますが、各自ご都合のいいプランをお考えいただいても結構です。

島原鉄道は諫早駅⇔島原外港駅間を運行しています。(片道1500円程度の料金です)

2. シリーズ世界一周の旅 —その8— ヨルダン編

4月26日～5月3日 ヨルダン旅行①

熊本県 T会員

インドでの旅行を終えた後は、飛行機でヨルダンのアンマンへ。アンマンでは、日本からゴールデンウィークを使って旅行にくる友人と待ち合わせたり、当時ヨルダンで仕事をして知り合いの家にお世話になったり、JICAで働いている方に町案内をしていただいたり、沢山の日本人の方にお世話になった旅だった。

アンマンは初めて行くアラブの国。今まであまりアラブ人と接したことがないので楽しみだった。空港からタクシーで予約していたホテルへ行く。タクシーの中で運転手がいくつかのアラブ語を教えてくれた。とても気さくなヨルダン人に好感が持てた。私たちの最初の宿は街中にある一泊2人で3000円のホテル。街中の便利な場所だった。とりあえず荷物を下ろして町を歩いてみる。色とりどりの野菜や山積みになった香辛料、アラブ独特の女性が体を覆い隠す衣装、その場で絞ってくれるオレンジの生ジュースのお店など、インドの風景と違って面白い。アラブ諸国といえば、イスラムの厳格な教えによる閉塞的な町かと思っただけ、明るく現代的な町だった。

近くにあったモスクにも行ってみた。お祈りの時間ではなかったので人はまばらだったが、広いモスクの中で女性が入れる場所は狭い囲いの中だけで男性とは区別されていた。場所によっては中を見学できるところもあるが、一般的に祈りの場所は男女区別されていた。町を歩く女性たちも、ほとんどが頭から布をかぶって顔だけを出し、暑いさなかでも長袖、踝まである長い服を着て決して肌を人目にさらすことは無かった。なんだか女性たちの自由が制限されているように思うが、町中でみる人々は明るく幸せそうに見えた。(余談だが、町のやや奥まった場所を歩いていたとき、なぜか派手でセクシーな女性下着がショーウィンドーに飾られている一画があった。それを見たとき、普段外に出るときは体を覆って肌を隠しているが、自宅に戻ったときには自由な服装を楽しんでいるのだろうかと思った。)

ホテルで一泊したあとは、1年ほど前からアンマンに駐在されている方の家にホームステイさせていただいた。ヨルダンを取り巻く諸国の事情について詳しい方で、なぜ隣の国のシリアで内戦があっているのにヨルダンへ飛び火しないかの話は面白かった。ヨルダンはアラブの国ではあるがイスラエルとシリアの間でうまくバランスを取る役割を担っているようだ。また国民の王室への信頼が厚いため他のアラブ諸国のようには革命が起こらないと言っていた。つまり、今後の中東の動きについてはヨルダンの位置がとても重要と言われていた。

その後、日本からの友人と合流したあと、知り合いのJICA職員と一緒にペトラ、ワディー・ラム、アカバへ二泊三日の旅に出かけた。ペトラは「インディージョーンズ」の映画で有名な谷あいにある遺跡で、ワディー・ラムは「アラビアのロレンス」の舞台になった砂漠だった。アン

マンからは車で数時間。町を離れると荒野の中の一本道をひたすら南に下る。車の通りはあるがほとんど店もなく、こんなところで事故にでもあったら炎天下の中、熱中症になってしまうのではないかと思われた。

ペトラはヨルダンの中でも一番の観光地で、なんと海外からの旅行者は入場料 50DJ も払わなくては行けない。今現在 1DJ が 175 円くらいなので 8750 円にもなる（当時はレートが良かったので確か 5000 円だったと思う）。完全に足元を見られている。ちなみにヨルダン人は 1DJ で入れたりする。

入場料を払った後、徒歩で私たちは移動したが、この遺跡は映画に出てきたあの有名な建物だけでなく沢山の見所があってとても広い。歩くのに自信の無い人は馬車やロバに乗って移動することも可能だ。私たちも流石に最後の方に出てくる丘へ続く階段は無理だろうとロバを借りることにした。ロバも慣れたものでロバ使いから離れても勝手に上っていく。遺跡の中にはローマ時代のものなのか円形競技場や美しく装飾された神殿や墓があった。昔は水路などあったそうだが、なぜこんな砂漠にこんな立派な遺跡があるのだらうと思えるほど、緑の少ない土地だった。日没近くまで見学し、その後はアカバのホテルに宿泊した。

旅の 2 日目はアカバからワディー・ラムへ。ジープと運転手を雇って移動。奇妙な形の岩たち、昔の人が書いた岩の落書き、赤い砂漠の山を駆け下りたり、意外と見所は沢山あった。途中テントで暑いチャイを頂いて休憩。運転手が弾くウード（マンドリン）を聞きながらまったりした。

昼はアカバに戻って魚料理を食べた。店先に魚が売られていて、魚を選んで調理法を言って注文するスタイル。もちろん現地滞在の JICA 職員に注文をお願いした。昼食の後はアカバの海岸へ。アラブ人といえども暑い最中、女性も海水浴をする。しかし、そのスタイルはかなり異様。肌をさらしてはいけないイスラムの女性が水着姿になるはずもなく、黒いチャドルを着たまま浮き輪をして二人の女性がキャッキョと遊んでいた。もちろん頭にはヒジャブをかぶって……。いいけど、帰るときこの濡れた服はどうするのだらうと疑問が残った……。

その日の夜はアカバに住む JICA 職員のアパートの屋上で焼肉パーティーとなった。若い職員やシニア職員もいた。私は 2 年の海外派遣が終わったらみんな日本に帰るのかと思っていたが、中には何年も繰り返し申請して JICA の仕事を続けている人もいることを知った。大変なこともあるようだが、自由な時間にはスキューバダイビングをしたり、結構楽しんでいるようだ。その中の一人の女性が言っていた話が印象的だった。イスラムの女性は家族以外の男性と話をすることは禁じられている為、男性に対してとても無知だと言っていた。ある日、ヨルダンの女の子が恋人が出来たと彼女に話したという。閉鎖されたイスラムの世界で恋人を作るのは大変なことなので詳しく話を聞いてみると、ネットで知り合った外国人という。ネット上での会話だけなのに、彼女は夢中になっているようだ。

アラブの世界ではまだ女性の地位が低く、もし親の許しの無い駆け落ちなどしようものなら大変なことになるようだ。女性側の家族が、そういった過ちを犯した娘を恥ずかしく思って殺しに来ることもあると聞いた。そんな話を聞くと恐ろしい世界のように思えてきた。

アカバの夕方は涼しく、沈む夕日も綺麗だった。こうやって海外で働いている日本人と知り合えたことは大変良い体験となった。（次は旅行の続き「死海」について書きます）

3. サーバストラベリング報告 ーイギリスから

福岡県 T 会員

今年の 3 月末に、鳥栖にお住まいの N さんからサーバス会員になるお誘ひを受け、会員となった TH です。いまイギリスに滞在してゐます。先日の日曜日に、英国の会長 RA さんからメールで紹介して頂いたサーバス会員の He 夫妻に半日お世話になりました。自宅の裏庭にあるテーブ

ルで、手作りの料理とワインをご馳走になりながら、自己紹介から始まり、サーバス会員の付き合い方や、夫妻が秋に日本に旅行する予定だといふので、その計画を聞いたりアドバイスをしたりして話が弾みました。その後、近くの丘の頂きにあるアレクサンドラ・パレスを散策しながら、その由来や、BBC 放送やテレビ番組が初めてそこから放送されたことなど、興味深い話を伺ひました。夜は自動車でパブに連れて行って貰ふと、その2階で40人位が集ふ珍しい演奏会に出会ひました。楽器演奏者のいないステージに、ひとり、またひとりと次々にアマチュアの歌手が登場し、自慢の歌をソロで歌ったり、ギターやアコーディオンを弾きながら歌ったりする、そして聴衆も一緒に唱和して歌ふ場面が何度もありました。私の知っている歌は一曲もありませんでしたが、フォークソング（民謡）をみんなで歌って楽しんでゐる風で、とてもいい雰囲気でした。Aさんにはそこで初めてお会ひしました。Aさんは、私がイギリスに着いて間もなくメールを送って挨拶をすると、その数時間後には返事のメールを下さり、自分は忙しくていま会へないけれども知人を紹介すると言って、打てば響くやうに対応をして貰ひました。He夫妻に連絡を取ったときもすぐに返事のメールが返って来て、その後友人に対するやうな歓待を受けました。メールの返事の早さだけでも、会員の方の人と付き合ふ時の姿勢を感じました。イギリスにはこれからまだ4ヶ月滞在しますが、何人かのメンバーの方と連絡を取って、人に会ひに行く旅行をしたいと思ひます。どんな人に出会へるのか楽しみです。

4. サーバス受け入れ報告

長崎県 O 会員

4月から5月初めにかけて3組のトラベラーをホストしました。

最初はベルギーのJさん。3週間のイースター休暇で日本人の奥様が実家に里帰りされている間、ご自分は一人で九州を自転車旅行。ベルギーから自転車持参です。九州の海岸線を中心に1日100キロ近くの走行距離。大学生のお子さんもいらっしゃる50代の方でしたがそのタフさにびっくりしました。途中、スマホが水に濡れて使えなくなり、サーバスとの連絡が取れなくなっていると嘆いていらっしゃいました。連絡切れになった方があるかもしれませんね。非常にもうしわけなさそうでした。

九州の海岸線、アップダウンはあるがとてもきれいで、走るのが楽しかったそうです。

2組目はスイスから母子3人、といっても子どもさんは21歳と25歳の息子さん。お母さんは小学校の校長先生。毎度のことながら、おしゃべりはお出しした料理の名前や食材・調理法からはじまり、風習や文化・教育・平和・政治・・・と際限なく夜遅くまで続きました。

途中で私が「校長先生が3週間も学校を空けて外国旅行ができるんですね～」と言ったら、彼女曰く、「ワークシェアリングだから大丈夫。自分が不在の間はもう一人の school director がすべてやってくれている。昨年は彼がそのようにして家族旅行を楽しんできた」のだそうです。普通の勤務も自分が週4日、もう一人の方が週3日勤務。先生方もほとんどがワークシェアリングで子育て中のママさん先生が多いとのこと。返事を聞いて何度も羨ましがる私に、日本は？と逆質問。私の周りの教師たちの実情を語ったら、彼女も二人の息子さんもびっくり。デートは？結婚は？子育ては？家族は？趣味は？矢継ぎ早の質問です。

翌日はもし可能なら学校を見たいと言われるので近所の小学校にお連れしました。どんな感想をお持ちだったかお聞きしたかったのですが、ちょっと躊躇してしまいました。いつかチューリッヒの学校を訪ねたときにお聞きすることにしましょう。

3組目は韓国のP夫妻。Pさんは九州支部の例会にも参加されましたので顔なじみです。釜山

でも息子さんにお会いしました。今回はご主人と一緒に。二人でおしゃべりに興じている間にご主人が食後の後片付けをされ、恐縮してしまいました。「日本だ〜い好き」といってくださる P さんにまた、例会で会えるかな？と楽しみにしているところです。

5. サーバス九州からのお知らせとお願い

1. ネパールにカンパ

ネパール地震に対してのカンパの呼びかけが東京支部よりありましたので、そのメールを皆さまのところにも回らせていただきました。いろいろなつながりで、もうカンパが済まれた方も多いたと思いますが、サーバス九州としてもお見舞いと連帯の気持ちを表すために、支部費の予備費から 1 万円をカンパしました。ご了解ください。

2. 転送メール

日本サーバスを通じて国内外のサーバス情報がきていますが、それを副支部長さんがみなさんの元に転送してくださっています。世界でどんな動きがあるのか、興味をもっていたいただければ幸いです。参加を希望される場合は直接該当サーバスにコンタクトをおとりください。

3. 変更連絡を！

ホストリスト情報の書き換えは年 1 回で印刷版のホストリスト発行時のみでしたが、今年度からホストリストが電子化されましたので、リスト掲載の会員情報の書き換えも年 3 回可能になりました。

住所、メールアドレス、電話番号等の変更がありましたら、いつでも支部長までご連絡ください。まとめて IT 委員に連絡いたします。

4. LOI 発行、ホストリスト貸し出し要請等はお早めに！

LOI およびホストリスト貸し出し要請は早めにお申し出いただくと助かります。支部長・副支部長共に長期の旅行のこともありますので、対応できかねる時があります。

特にホストリストの貸し出しはセキュリティの件で電子版をそのまま貸し出すことを多くの国が禁じています。そのため旅行希望地域をお尋ねし、その部分を支部長がコピーしてお送りしていますので、実務上も少々時間が必要です（加えて、支部長・副支部長ともに IT が得意ではなく、送信したファイルが開かない現象もしばしば起こり、その対応であれこれ試行錯誤していますので時間がかかります）

近い将来は、支部を通さずに、自分で直接ホストリストにアクセスできるようになるのですが、今はそこまでいっていません。過渡期だと思います。

5. トラベリング報告・受け入れ報告

お互いの体験を交流することがお互いの学びになりますし、世界を広げていってくれると思っています。気楽に内容をお知らせください。

6. サーバス九州現況(2015年6月5日現在)と会員情報

新入会者紹介：

長崎県の O M さんが入会してくださいました。中学校にお勤めのお若い英語の先生です。

九州支部会員数 57 家族

<内訳：福岡 14、佐賀 4、長崎 9、熊本 6、大分 14、宮崎 9、鹿児島 1>

会員情報：

今年、入会して下さった F さんが経営されている森の学校「楠学園」が毎日新聞の写真館(4月22日)に掲載されていました。学園のホームページと共にごらんになってみてください。(どちらもネットで見られます)「毎日新聞 森の学校楠学園」で検索したらヒットしました！子どもたちの表情が生き生きとしています。